

総合事務所の見直し問題は市民の声を聞くべきだ TPP、市役所機構改革などで一般質問しました

日本共産党議員団の4人は12日、13日と一般質問に立ち、後期高齢者医療、津波対策、原子力防災対策、TPP問題などで一般質問を行いました。このうち私は、「TPPと上越市の農業について」と、「市役所組織機構の見直しについて」の2つのテーマを担当し、質問を繰り広げました。以下はその大要です。

【橋爪】市長はこれまで市議会でも、「TPP等の経済連携の検討は必要。一方で食料や当市の基幹産業である農業等について考えると、関税撤廃の影響は極めて大きいものと懸念している」とのべてこられた。11月の野田首相のTPP参加表明をどう受け止めているか。

【市長】国内でも様々な意見や議論がある中で、高いレベルの経済連携と農業の両立を図ることを基本に、首相が政治決断されたものを受け止めている。さまざまな影響があり、見極めることが必要。国民的な議論が必要だ。

【橋爪】市長はこれまで「十分な国民的議論を尽くしていくことが必要」とも述べている。この点は達成されたとみていいか。

【市長】一国の総理の決断は重い。情報が少ない中で、懸念を明らかにする国のプロジェクトが立ち上がったので、これから内容のある議論になると思う。

【橋爪】上越市は食料農業農村基本条例を持ち、集落間連携や中山間地対策などの取組で全国から注目されている。TPPに参加した場合、この条例に基づく施策の展開はできなくなるし、地域経済はダメになるから参加表明を撤回してくれと言わなければならない。

【市長】農業の再生は待ったなしの課題だ。経営努力だけでは限界があり、産業政策や農村振興施策も必要だ。これまで、市の条例をもとに、自給率の向上などに取り組み、施策を展開してきた。TPPは情報が少なく詳細は不明だが、大きな影響があると考え。注視し、適切な対応をしていきたい。

【橋爪】今の段階でつかんでいる情報に基づき、上越市農業への影響を試算されていると思うが、数値を明らかにしてほしい。

【川上農林水産部長】昨年の段階の試算と基本的には変わっていない。関税が撤廃され、何らの施策も講じられなかった場合、コメについては生産額で70%、価格で約40%の減収となる。生乳については56%ほどの減、豚肉、肉牛についても70%、83%減になる。いま国が出している19品目で試算すると、トータルで45%ほどの減収が見込まれる。

【橋爪】（13区は）合併して人口が減っている、元気がなくなっている。私は合併前の協議の段階から、「編入された13の合併地域が栄えることなくして市の中心部は栄えない」と思ってきた。こうしたなか、総合事務所の見直しが始まり、大浦安などでは不安の声が広がっている。

【市長】平成16年の保育士をのぞく普通会計に属する職員数は939人だったが、同じ条件で比べると、本年4月の段階で410人となっている、529人の減少である。

【橋爪】総合事務所について、どういう視点で見直そうとしているのか。

【市長】現行の行政システムでは多様化する行政課題への対応が困難だ。「地域自治区間の連携強化による地域課題への対応」「機動的な対応を可能とする組織」「一定数の専門職員の集約配置と効率的な人員配置」などの視点から、「区域のブロック化」と「基幹的な総合事務所の設置」を目指している。



総合事務所、合併で529人減少

(裏面に続く)

困ったもんだ…特別養護老人ホーム申込から入所まで平均2年8か月も

上越市は特別養護老人ホームの入所申込者の実態、入所者の医療依存度などを調査し、このほどその結果を公表しました。

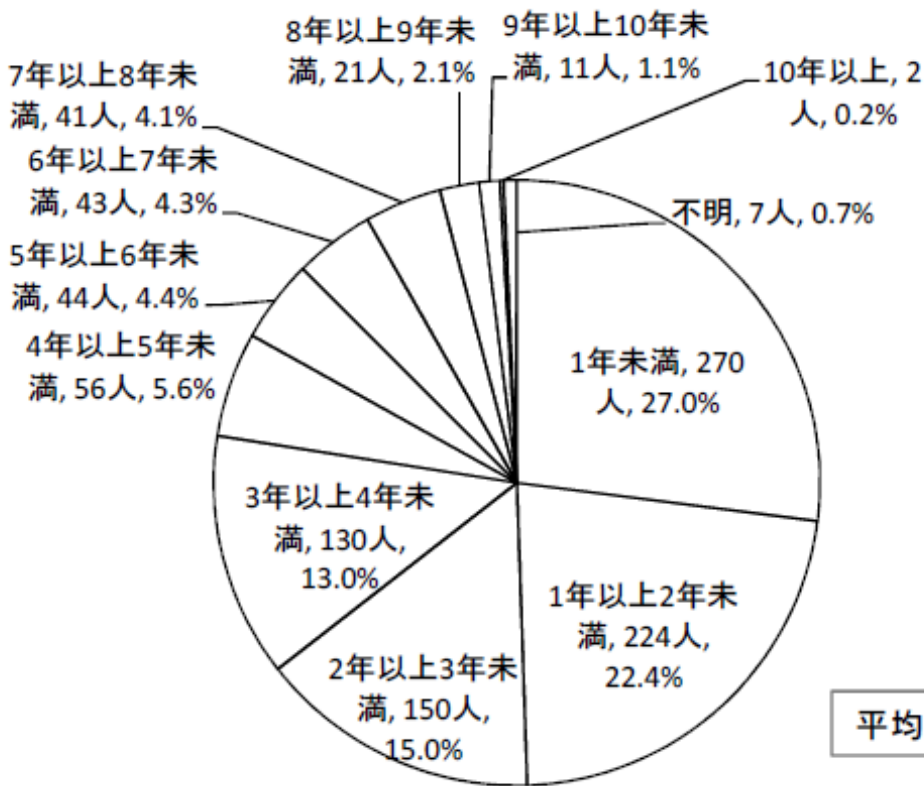
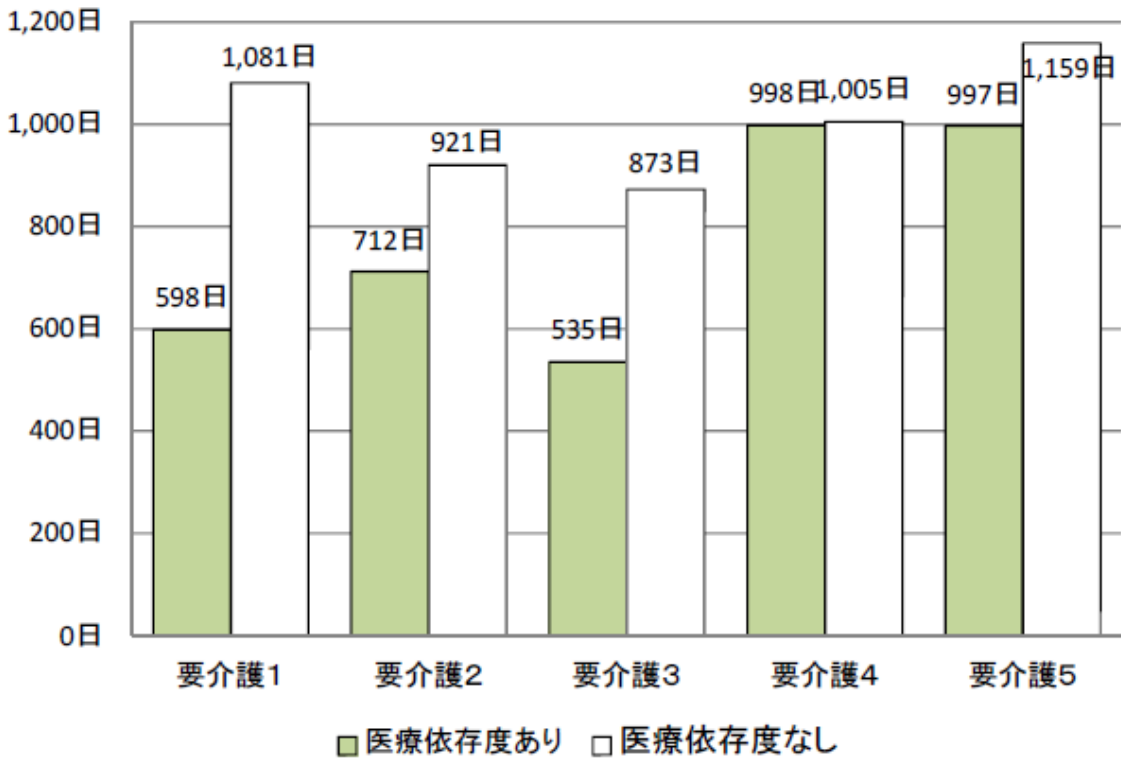
調査は今後の介護保険施策や第5期介護保険事業計画の策定にあたっての基礎資料とするものですが、入所申込をしても平均待機日数が2年を超えるなど厳しい状況が浮き彫りになりました。

市内の要介護認定者数は本年7月1日現在、1万2061人。このうち、特別養護老人ホームに入所を申し込んでいる人は1380人（11・4％）に上ります。

平均待機日数が2年を超えているのは特別養護老人ホームがまだ少なく、国が本格的な対策を講じていないから。介護施設をつくれれば、介護保険料に跳ね返ってくる現行の仕組みも変えてもらう必要があります。

市の説明によれば、「すぐに入所したい」との意向が示され、かつ、担当の介護支援専門員や支援相談員が「1年以内に入所が必要」と判断した方、すなわち特別養護老人ホームへの入所について「緊急性や優先度の高い方」は、350人だったといっています。

市では「現在、これらの調査結果を介護保険運営協議会に示し、第5期介護保険事業計画において、どの種類の施設をどれだけ整備すれば良いのか検討している」とのべていますが、当面、最低限、緊急性や優先度の高い人が全員入所できるようにしてもらいたいものです。



（表面からの続き）

【橋爪】この見直し作業はこれまで行政主導で行われてきた。大事なものは関係市民の意見をしっかりと聞くことだ。今後、大浦安で試行していくということだが、その時は、市民の声を聞くという仕組みの中で検証していくことは最低限やってくださいませか。

【市長】当然、試行の後の検証の中でどういった課題が出てくるのかなど、市民の声を聞きながら進めていく必要があると思っている。時間的にもそういう余裕はとってある。

【橋爪】ぜひ、そうしてもらいたい。市民との意見交換の中では、皆さんの方針の変更もありうるのか。

【市長】私どもの提案を理解していただき、納得してもらうために丁寧に説明していく。